

2025年9月18日
豪州経済りそなホールディングス 市場企画部
渋谷 和樹

日米欧 Market View:25年9月豪州概況

米FRBの利下げ継続姿勢は豪ドルの支援材料

要約

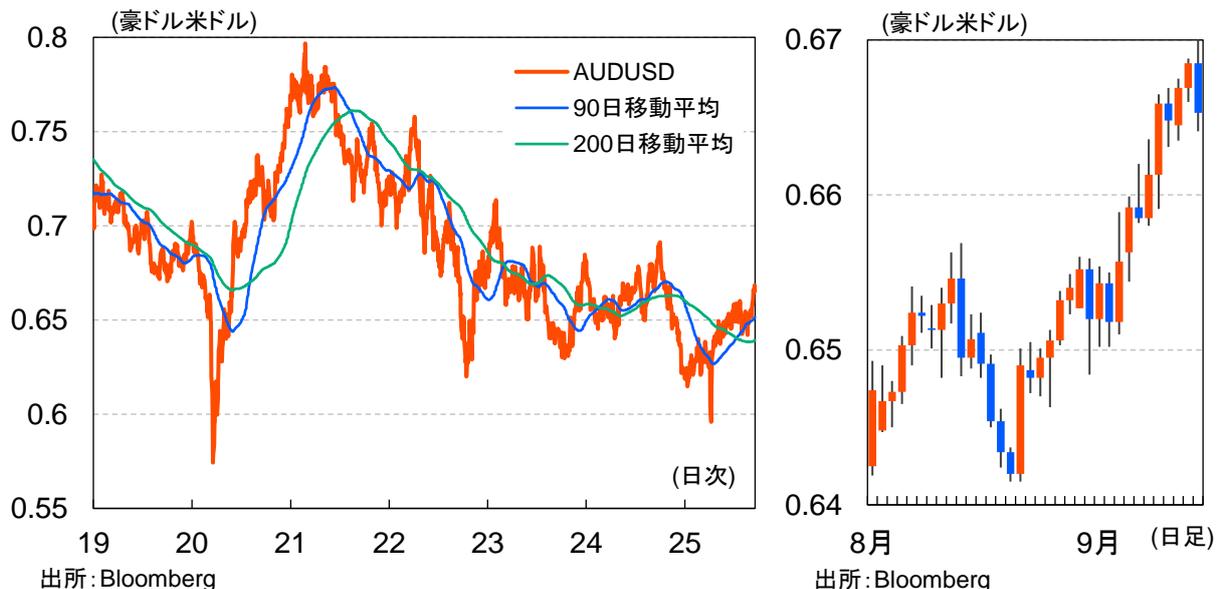
- 8月の豪ドルは対ドルでは上昇、対円では横ばい圏で着地した。
- 対ドルでは25年末にかけて現状(1豪ドル0.65ドル)程度で推移しそうだ。豪中銀が慎重姿勢を継続する一方、米FRBが利下げを進める姿勢を継続すれば豪ドルは買われやすいか。
- 対円では日本国内での政治情勢への懸念などから短期的には円の重い展開となろう。関税に対する懸念が払しょくできれば再度日銀の利上げ観測が高まって、中長期的には上値が限られてこよう。

【為替】

豪ドルは対ドルで上昇、対円で概ね横ばい

8月の豪ドルは対ドルでは上昇、対円では横ばい圏で着地した(図表 1,2)。月初は弱い米雇用統計を受けて豪ドルも売られたほか、ジャクソンホール会議を控えて1豪ドル0.64米ドル付近まで下落した。一方、月末にかけては米FRBによる9月利下げ期待を背景にリスク選好姿勢が強まって上昇に転じた。豪CPIが市場予想を上振れ、豪中銀が慎重に政策判断を行うとの見方が強まったことも豪ドルを下支えした。対円は対ドルと概ね同様の推移をたどったが、月初のリスクオフの局面では円が買われやすく、豪ドル円は相対的に伸び悩んだ。

【図表1:豪ドル米ドルの推移(左:直近5年間、右:直近1ヵ月)】

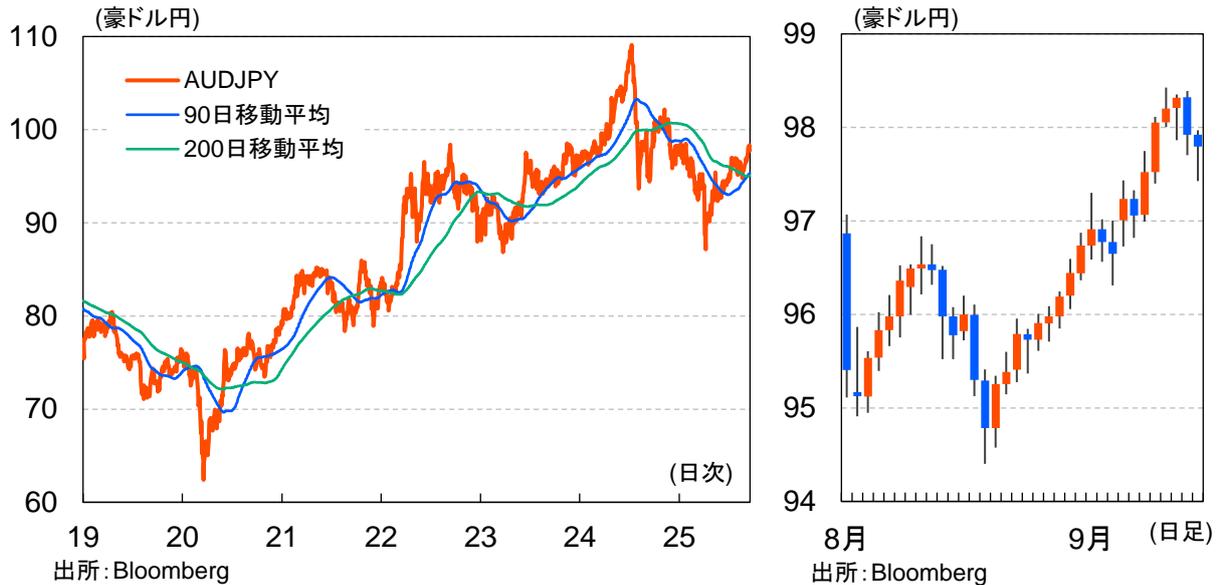


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

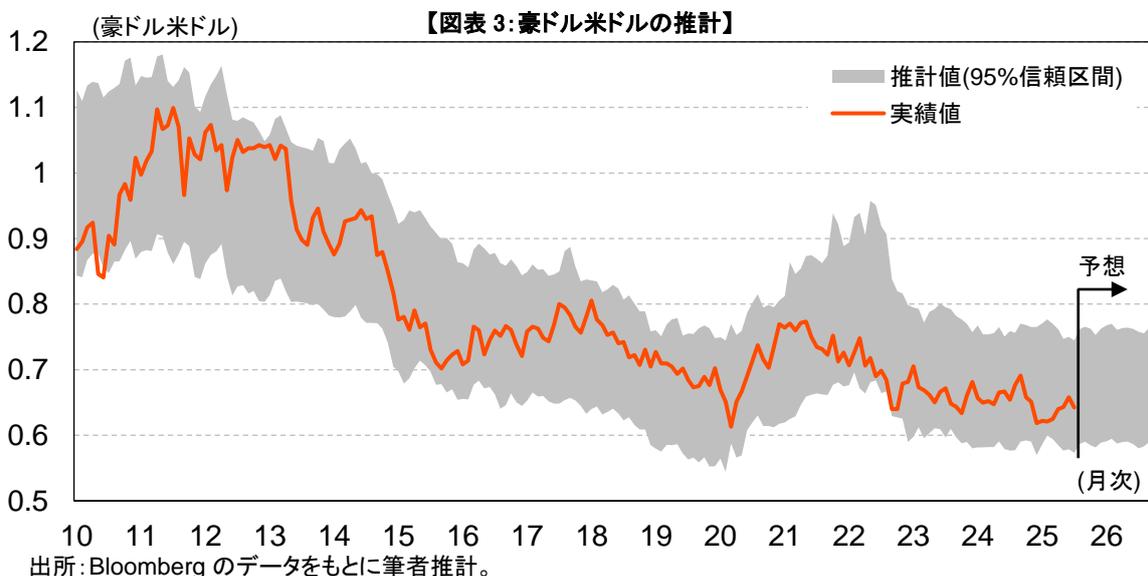
【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】



リスク選好姿勢続けば豪ドルは買われやすいか

9月以降の豪ドルは、対米ドルは26年央にかけて概ね現状程度の水準で推移するとみるが、足元の動きや米FRBの政策金利見通しなどを加味して、水準を小幅に上方修正した(図表3,4)。今月は日米株が上昇するリスク選好姿勢が継続し、豪ドルは買われやすい地合いとなっている。米FRBによる9月利下げは市場で事前に完全に織り込まれていたため、利下げ決定そのものに対する動意は薄かった。ただし、今後も利下げを継続する姿勢が示されたことから、投資家がリスク選好姿勢を取りやすく豪ドルの支援材料となろう。

対円は、米国の関税政策に対する過度な懸念が一服したことや、日本国内の政治情勢への懸念などを材料に、短期的には円を買いづらいつ展開となりそうだ。一方で関税の経済的影響が限定的であることが確認されれば、来年にかけては日銀の利上げ観測が再び高まりをみせると考えられることから、中長期的に豪ドル円の上値は限られてこよう。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.62-0.70	0.62-0.70	0.62-0.70	0.62-0.70
	期末値	0.66	0.66	0.66	0.68
豪ドル 円	レンジ	90-102	90-102	93-105	93-105
	期末値	96	96	99	99

出所:りそなホールディングス

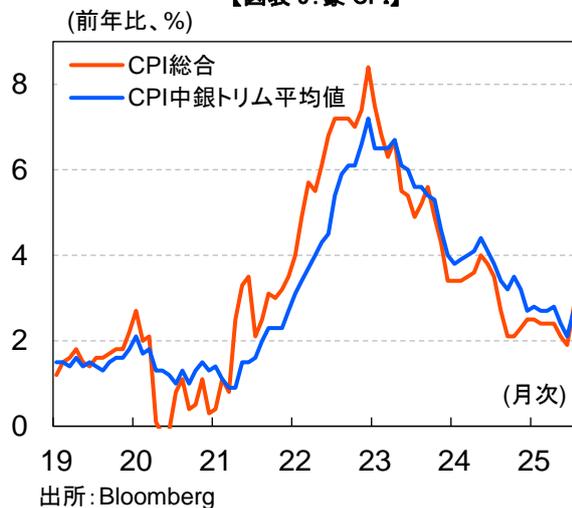
【景気】

物価・消費:物価の基調は目標レンジ内で推移

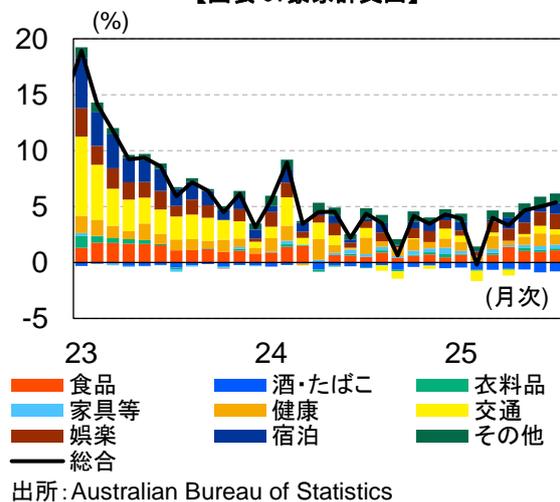
8月27日に公表された7月CPI総合指数は前年比2.8%、コア指標として豪中銀が重視するトリム平均値は前年比2.7%だった。基調的な物価上昇率を示すトリム平均値は物価目標のレンジである2~3%の間で推移している(図表5)。総合指数は市場予想(前年比2.3%)を上振れる結果となり、電気代の大幅な上昇がインフレ加速に寄与した。政府の電気代補助金の支給タイミングの関係で、一部の州で期間中に補助金が支給されなかったことが影響したとみられる。そのほか、娯楽や宿泊などのサービス物価の上昇も目立った。

9月4日公表の7月家計支出は、前年比5.4%と前月から伸びを拡大した(図表6)。食料品に加え、娯楽や宿泊などのサービス支出が前月から増加している。昨年後半からのインフレ鈍化を受けた、家計の消費意欲回復などがあるほか、観光需要の持ち直しや学校休暇時期に伴う旅行関連支出の増加も寄与したとみられる。

【図表 5: 豪 CPI】



【図表 6: 豪家計支出】



雇用:雇用者は市場予想を下回り、内訳は正規雇用減少が寄与

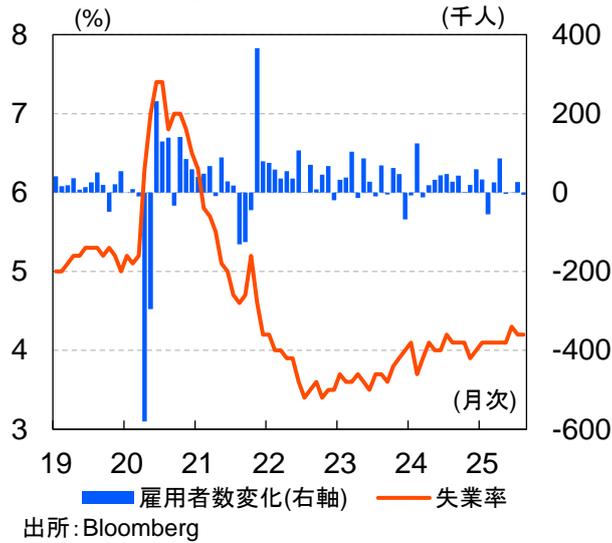
9月18日に公表された8月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が▲5.4千人(市場予想: +21千人)、失業率が4.2%(市場予想: 4.2%)と、雇用者数の伸びは市場予想を下回った(図表7)。内訳をみると、男女ともに正規労働者の減少がみられ、弱めの結果であった。もっとも、雇用指標はここ数か月、強弱が交錯する動きが続いており、労働市場には緩和の兆候があるものの、現時点で大きく崩れているとは言い難い。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

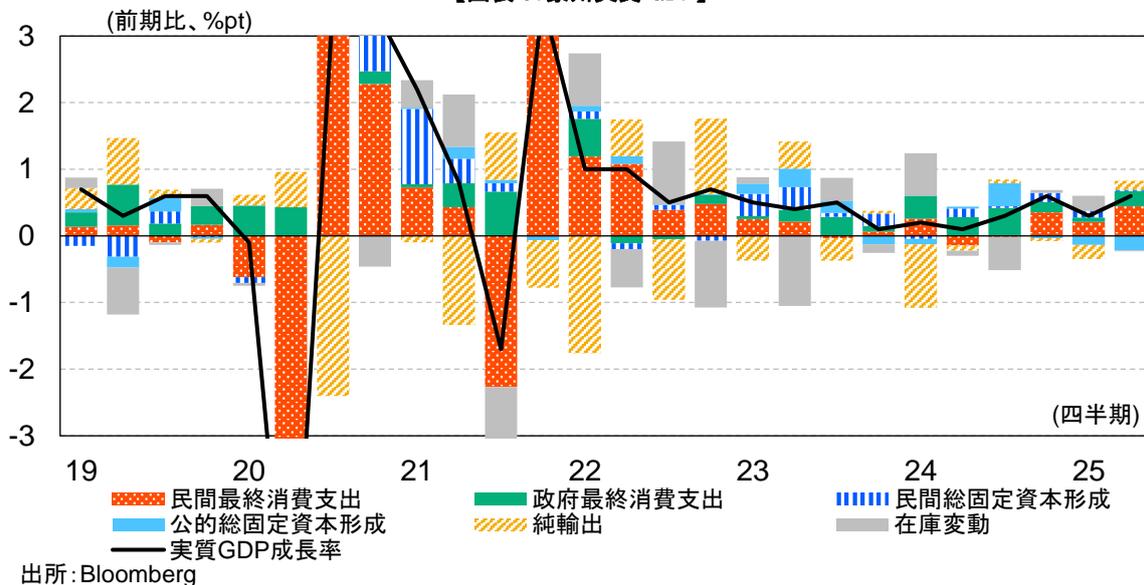
【図表 7: 豪雇用統計】



GDP 統計: 成長は加速、個人消費や輸出が回復

9月3日に公表された25年4-6月実質GDP成長率は前期比0.6%と、市場予想(同0.5%)を上回り、前期(同0.3%)からは伸び率が加速した(図表8)。項目別の寄与度を確認すると、個人消費の堅調さや輸出の回復が成長をけん引する格好となった。インフレの鈍化が進行したことを受けて、家計の消費意欲が高まり、サービス関連支出が伸びを示した。また、米関税政策を巡る不透明感が和らぎ、前期の反動もあって資源輸出が回復したとみられる。一方で、企業の設備投資は横ばい圏にとどまり、企業の慎重な投資姿勢がうかがえる。利下げの効果で企業の設備投資意欲が回復するには時間を要することが示唆される。

【図表 8: 豪州実質 GDP】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
219	2025/6/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年6月)
220	2025/6/13	日本株	日本株需給(6月2日~6月6日)
221	2025/6/13	米国経済	5月米CPI
222	2025/6/19	米国経済	6月FOMC
223	2025/6/19	豪州経済	25年6月豪州概況
224	2025/6/20	日本株	日本株需給(6月9日~6月13日)
225	2025/6/24	米国株, 日本株	ROE分解からみえる米ハイテク株の優位性
226	2025/6/26	コモディティ	25年5・6月WTI原油先物価格
227	2025/6/27	日本株	日本株需給(6月16日~6月20日)
228	2025/7/1	日本株	日本株6月セクター動向と7月見通し
229	2025/7/2	米国経済, 米国株	6月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
230	2025/7/2	欧州経済	25年6月ユーロ圏物価動向
231	2025/7/4	米国経済	6月雇用統計
232	2025/7/4	日本株	日本株需給(6月23日~6月27日)
233	2025/7/11	日本株	日本株需給(6月30日~7月4日)
234	2025/7/16	米国経済	6月米CPI
235	2025/7/17	豪州経済	25年7月豪州概況
236	2025/7/18	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly (2025年7月)
237	2025/7/18	日本株	日本株需給(7月7日~7月11日)
238	2025/7/25	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
239	2025/7/25	日本株	日米関税交渉と日本株バリュエーション
240	2025/7/28	日本株	日本株需給(7月14日~7月18日)
241	2025/7/30	コモディティ	25年6・7月WTI原油先物価格
242	2025/7/31	欧州経済	25年第2四半期ユーロ圏GDP統計
243	2025/7/31	米国経済	7月FOMC
244	2025/8/1	欧州経済	日本株の7月セクター動向と8月見通し
245	2025/8/1	日本株	日本株需給(7月22日~7月25日)
246	2025/8/4	欧州経済	25年7月ユーロ圏物価動向
247	2025/8/4	米国経済, 米国株	7月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
248	2025/8/4	米国経済	7月雇用統計
249	2025/8/8	日本株	日本株需給(7月28日~8月1日)
250	2025/8/13	米国経済	7月米CPI
251	2025/8/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年8月)
252	2025/8/14	豪州経済	25年8月豪州概況
253	2025/8/18	日本株	日本株需給(8月4日~8月8日)
254	2025/8/22	日本株	日本株需給(8月12日~8月15日)
255	2025/8/25	欧州経済	25年第二四半期ユーロ圏賃金動向
256	2025/8/28	コモディティ	25年7・8月WTI原油先物価格
257	2025/8/28	半導体, 日本株, 米国株	エヌビディアの決算 FY2026 2Q
258	2025/8/28	日本株	日本株需給(8月18日~8月22日)
259	2025/8/28	日本株	4-6月期決算と年末までの見通し
260	2025/9/3	日本株	25年8月ユーロ圏物価動向
261	2025/9/3	日本株	8月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
262	2025/9/5	日本株	日本株需給(8月25日~8月29日)
263	2025/9/8	米国経済	8月雇用統計
264	2025/9/10	日本株	自民党総裁選と日本株見通し
265	2025/9/12	日本株	日本株需給(9月1日~9月5日)
266	2025/9/12	米国経済	8月米CPI
267	2025/9/12	半導体, 日本株, 米国株	9月半導体市場及びハイテク株動向
268	2025/9/12	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。